



少年センターだより

令和2年5・6月号 (第406号)



毎月1日「少年の日」 ☆育て少年心豊かにたくましく！ 第3日曜日「家庭の日」 ☆咲かせよう明るい会話，家族

大村市少年センターの紹介



○大村市少年センターの業務内容等について説明します。

【運営方針】

大村市教育方針に則り、深い愛情と強い信念を持ち、関係機関・団体と連携を図り、非行の未然防止と健全育成・環境浄化に努める。

【少年センターの主な業務内容】

| 少年の補導及び相談に関すること | 青少年問題の調査・研究及び資料収集に関すること | 関係機関・団体との連携・協力に関すること | 少年の非行防止及び保護育成に関すること | 青少年の健全育成に関すること |
|---|---|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・街頭補導 ・祭り等の特別補導 ・電話やメール相談 | <ul style="list-style-type: none"> ・メディア安全教育推進 ・自転車施錠調査 | <ul style="list-style-type: none"> ・警察署、学校、健全協等 ・県の関係課、関係機関、各市少年センターとの連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・非行被害防止キャラバン ・白ポスト回収 | <ul style="list-style-type: none"> ・ココロねっこ運動の推進 ・ココロねっこパレード ・健全育成研究大会 |

令和2年度も、青少年の健全育成のため、関係機関・団体と協力して業務を遂行していきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

補導状況報告（令和元年度）

| | | | | | | | |
|---------------|-----------|--------|--------|----------|--------|-------|------|
| 飲酒 | 喫煙 | 薬物乱用 | 乱暴けんか | たかり | 婦女いたすら | 暴走行為 | 家出 |
| 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 |
| 無断外泊 | 深夜徘徊 | 怠学 | 不健全性行為 | 不良行為 | 不健全娯楽 | その他 | 合計 |
| 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 815件 | 815件 |
| その他内訳 815件 | 交通違反(自転車) | 外出時間注意 | | ゲームセンター等 | 男女交際 | 愛の声かけ | |
| | 225件 | 56件 | | 78件 | 2件 | 454件 | |

○ 令和元年度は少年の大きな非行問題の報告はありませんでした。気になるのは、自転車の交通違反指導が多いことです。特に、高校生の登下校時の並進や、無灯火が多かったようです。

大村市は自転車関連の交通事故が県内で最も多く、令和元年度は中高生の登下校時の事故が多発しました。今年度は、自転車事故を減らすために、さらに啓発をしていきます。次ページの自転車安全利用五則を参考にしてください。



自転車安全利用五則



| | |
|--------------------|---|
| ①自転車は車道が原則、歩道は例外 | ○道路交通法上、自転車は軽車両と位置付けられています。したがって、歩道と車道の区別のあるところは車道通行が原則です。 |
| ②車道は左側を通行 | ○自転車は道路の左端に寄って通行しなければなりません。 |
| ③補導は歩行者優先で、車道寄りを徐行 | ○歩道では、すぐに停止できる速度で、歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければなりません。 |
| ④安全ルールを守る | ○飲酒運転・二人乗り・並進の禁止。 ○夜間はライトを点灯。（尾灯又は反射器材も） ○交差点での信号遵守と一時停止・安全確認 |
| ⑤子どもはヘルメット着用 | ○児童・幼児の保護責任者は、児童・幼児に乗車用ヘルメットをかぶらせるようにしましょう。 |

< 連載コラム >

「勉強しなさい」と親に言われて、「今しようと思ったのに」という場面がすぐに思い浮かぶ人もいるのではないのでしょうか？

人間は、本来、未知のものを探求する好奇心やできないものを克服することに対して、自ら積極的に取り組んでいく存在であるといわれています。いうならば、本来、勉強ぎらいな子はいないはずですが、現実には、「〇〇がきらい」「△△がきらい」・・・そして、「勉強がきらい」という子も少なくありません。

なぜなのでしょう？

それはきっと「したい内容よりも、しなければならない内容がはるかに多い」「十分理解するのに要する時間よりも、理解しなければならない時間が短すぎる」「好きなことだけをするというわけにはいかない」ことにも原因があるのかもしれませんが。

もしも、その子なりに興味がある内容を学び、理解し、「できた」という達成感・成就感を味わい、自らの意思で次なる課題に向かうというサイクルを繰り返すことができるのであれば、自己肯定感を高めつつ、知的理解だけでなく、思考力・想像力・判断力等を身に着けつつ「勉強ぎらいになることなく」「自ら進んで学ぼう」とし、順調に成長していくことができいくのでしょうか・・・。

もっとも、順調ばかりでなく、「挫折や苦難」に立ち向かい、乗り越えていくという学びの価値の大きさにも計り知れないものがあります。

今、子どもたち及び保護者・家族のみなさんは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行動範囲が限定され、自宅にいる時間が多くなり、学校の学習課題や自主学習を自宅で行う機会や時間帯も増えてきているはずです。

どうか、この機会に、親子で「勉強すること」「◇◇すること」を共有してみてはいかがでしょうか？

「できない・わからないところを共にどう克服していくのか」「『できた』瞬間をどう称賛し次につなげていくのか」「励ましつつ、その時間をどう共有していくのか」。その逆の対応や関わりのあるなしも含め、その「寄り添い」のありようにより、いくらかでも勉強や◇◇が「すきになっていくのか」「また一歩自己肯定感を高めていくのか」「本人との絆をさらに深めていくのか」・・・。

私たちすべての人間にとって、予想すらできないとても大変な状況・危機が迫っている今だからこそ、こと「勉強・◇◇」に限らず家族や愛する人たちと共に過ごす時間を「大切に」にさせていただけたらと願うものです。

< ひびK・I >



青少年に関する相談は少年センター（月～金 8:30～17:30）へ

☆ Eメール相談 : kiitekudasai@city.omura.nagasaki.jp

☆相談電話(ヤングテレホン)53-1020

☆フリーダイヤル 0800-200-2001